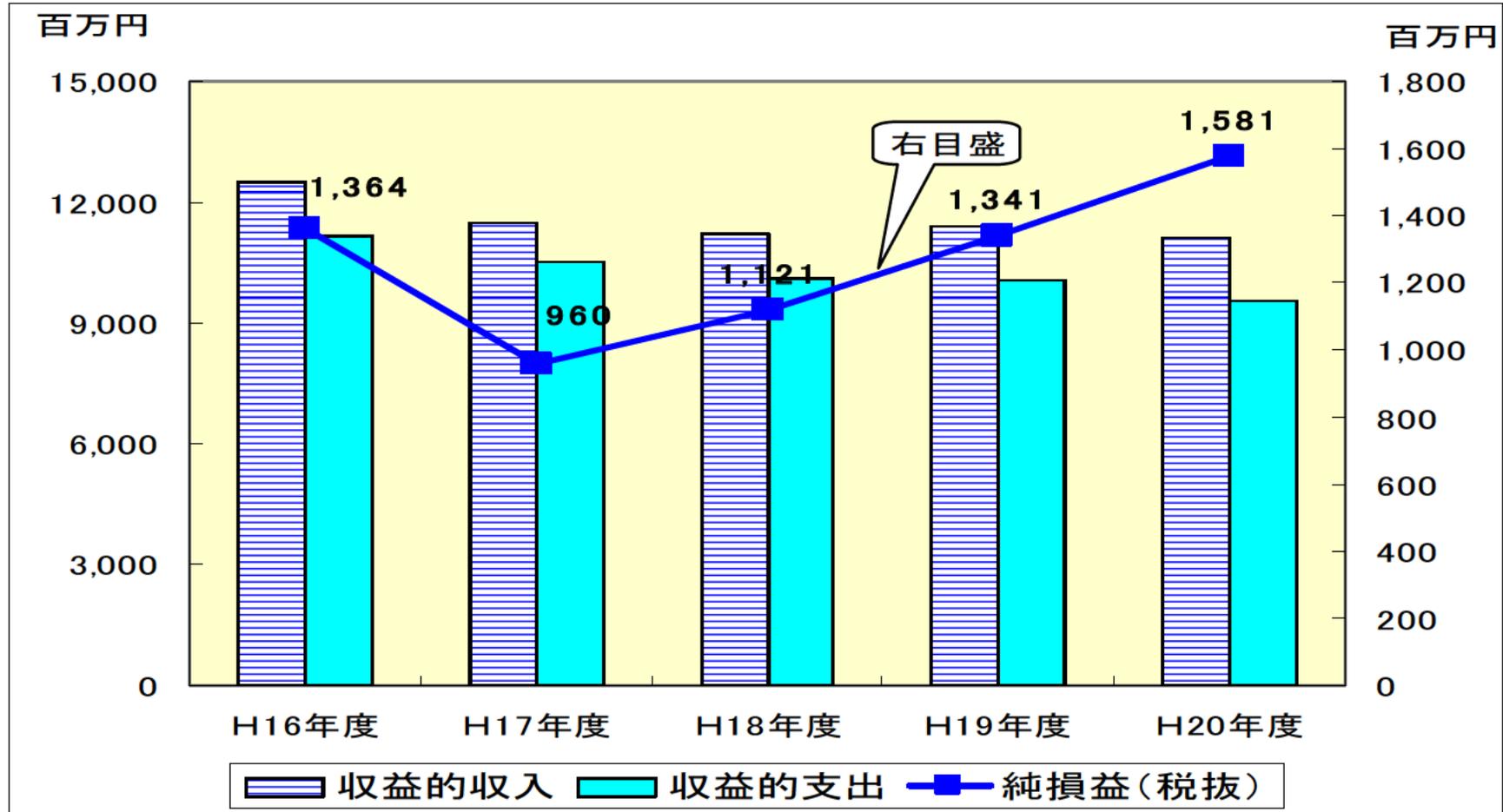


20年度の決算状況

平成22年2月2日

三重県企業庁

水道用水供給事業／収益的収支の決算額の推移



水道用水供給事業／20年度の収益的収支

収益合計／営業収益＋営業外収益＝111億2千8百万円余(対前年度比 97.7%)
 費用合計／営業費用＋営業外費用＝ 95億4千7百万円余(対前年度比 95.0%)
 純利益(収益合計－費用合計)＝ 15億8千1百万円余(対前年度比117.9%)

20年度の純利益は、前年度の純利益13億4千万円余より、2億4千万円余増加しています。この純利益については、前年度からの繰越利益剰余金2百万円余を合わせ、8千万円を減債積立金、15億円を利益積立金として利益処分を行いました。

主な利益増加要因（対前年度比）		主な利益減少要因（対前年度比）	
○ 資産減耗費の減少	145百万円	○ 給水量の減による給水収益の減少	98百万円
○ 補償金免除繰上償還等に伴う支払利息の減少	391百万円	○ 他会計補助金の減少	124百万円
計	536百万円	計	222百万円

水道用水供給事業／20年度の資本的収支

(資本的収入)

(単位：千円)

区 分	20年度決算額
企業債	14,007,300
補助金	2,262,087
出資金	4,131,840
負担金	154,249
雑収入	965
固定資産売却代金	90
合計①	20,556,530

(資本的支出)

(単位：千円)

区 分	20年度決算額
建設改良費	9,346,464
うち北勢広域水道拡張費	3,699,894
うち伊賀広域水道建設費	4,294,110
償還金	15,747,961
うち企業債	13,408,246
うち水資源機構割賦負担金	2,339,699
合計②	25,094,424

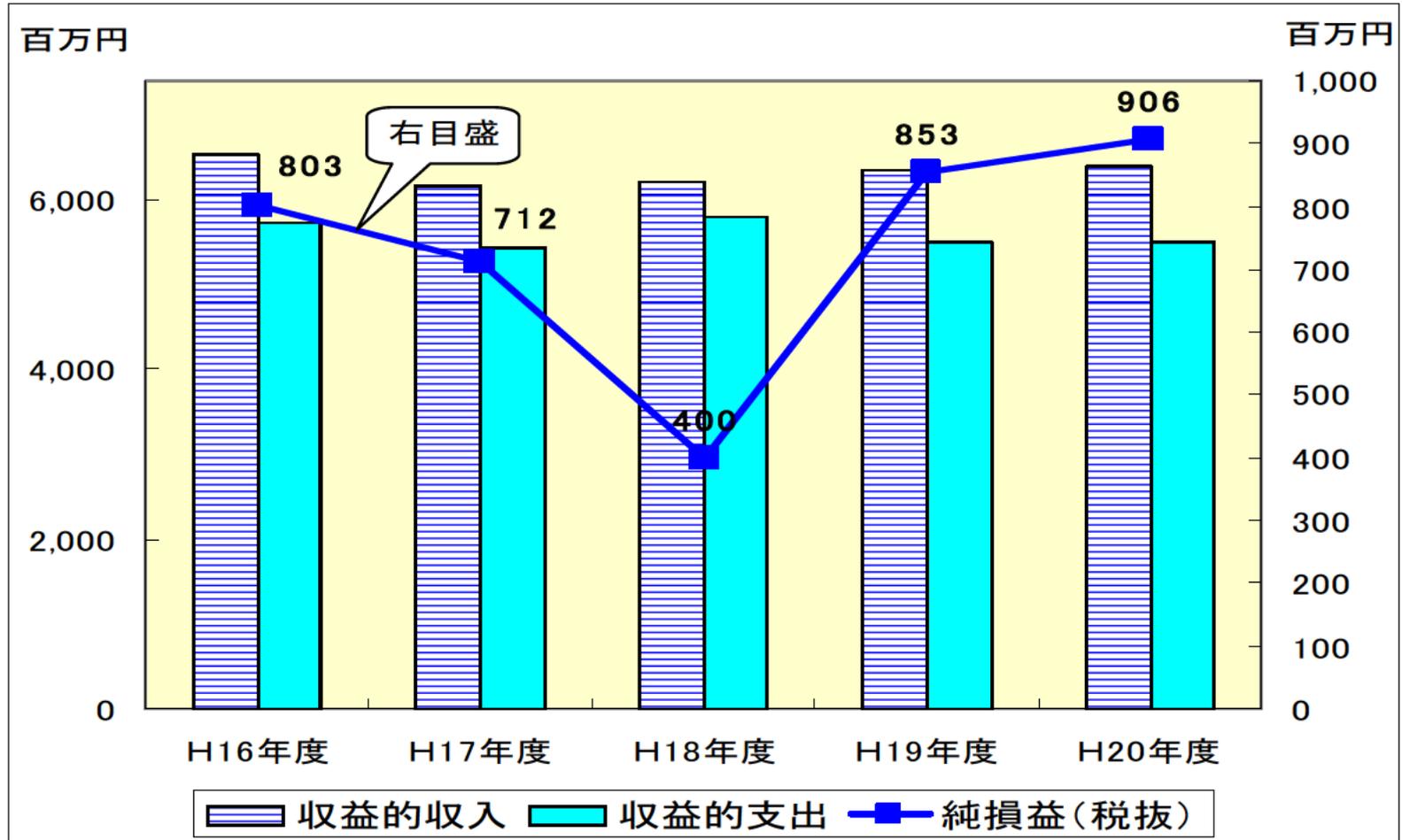
(単位：千円)

補てん財源	消費税資本的収支調整額	368,178
	減債積立金	1,340,000
	過年度分損益勘定留保資金	2,829,716
	合計	4,537,894

資本的収支不足額(②－①)＝4,537,894千円

補てん

工業用水道事業／収益的収支の決算額の推移



工業用水道事業／20年度の収益的収支

収益合計／営業収益＋営業外収益	= 63億9千8百万円余 (対前年度比100.8%)
費用合計／営業費用＋営業外費用＋特別損失	= 54億9千2百万円余 (対前年度比100.0%)
純利益(収益合計－費用合計)	= 9億6百万円余 (対前年度比106.2%)

20年度の純利益は、前年度の純利益8億5千3百万円余より、5千2百万円余増加しています。この純利益については、前年度からの繰越利益剰余金9百万円余を合わせ、9億1千万円を減債積立金として利益処分を行いました。

主な利益増加要因 (対前年度比)		主な利益減少要因 (対前年度比)	
○ 契約水量の増による給水収益の増加	44百万円	○ 原水及び浄水費の増加	72百万円
○ 受取利息の増加	24百万円	うち委託料の増加57百万円	
○ 支払利息の減少	52百万円	うち修繕費の増加26百万円	
計	120百万円	計	72百万円

工業用水道事業／20年度の資本的収支

(資本的収入)

(単位：千円)

(資本的支出)

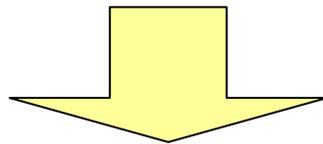
(単位：千円)

(単位：千円)

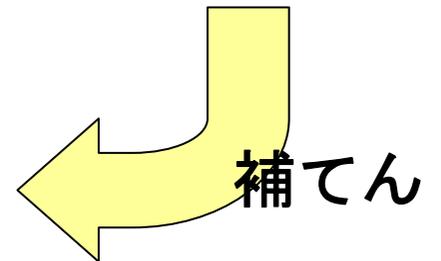
区 分	20年度決算額
企業債	700,000
補助金	109,300
出資金	1,353,969
負担金	85,932
固定資産売却代金	472
合計①	2,249,673

区 分	20年度決算額
建設改良費	2,472,352
うち北伊勢工水改良費	1,710,365
償還金	2,104,206
うち企業債	1,545,934
うち水資源機構割賦負担金	551,133
合計②	4,576,558

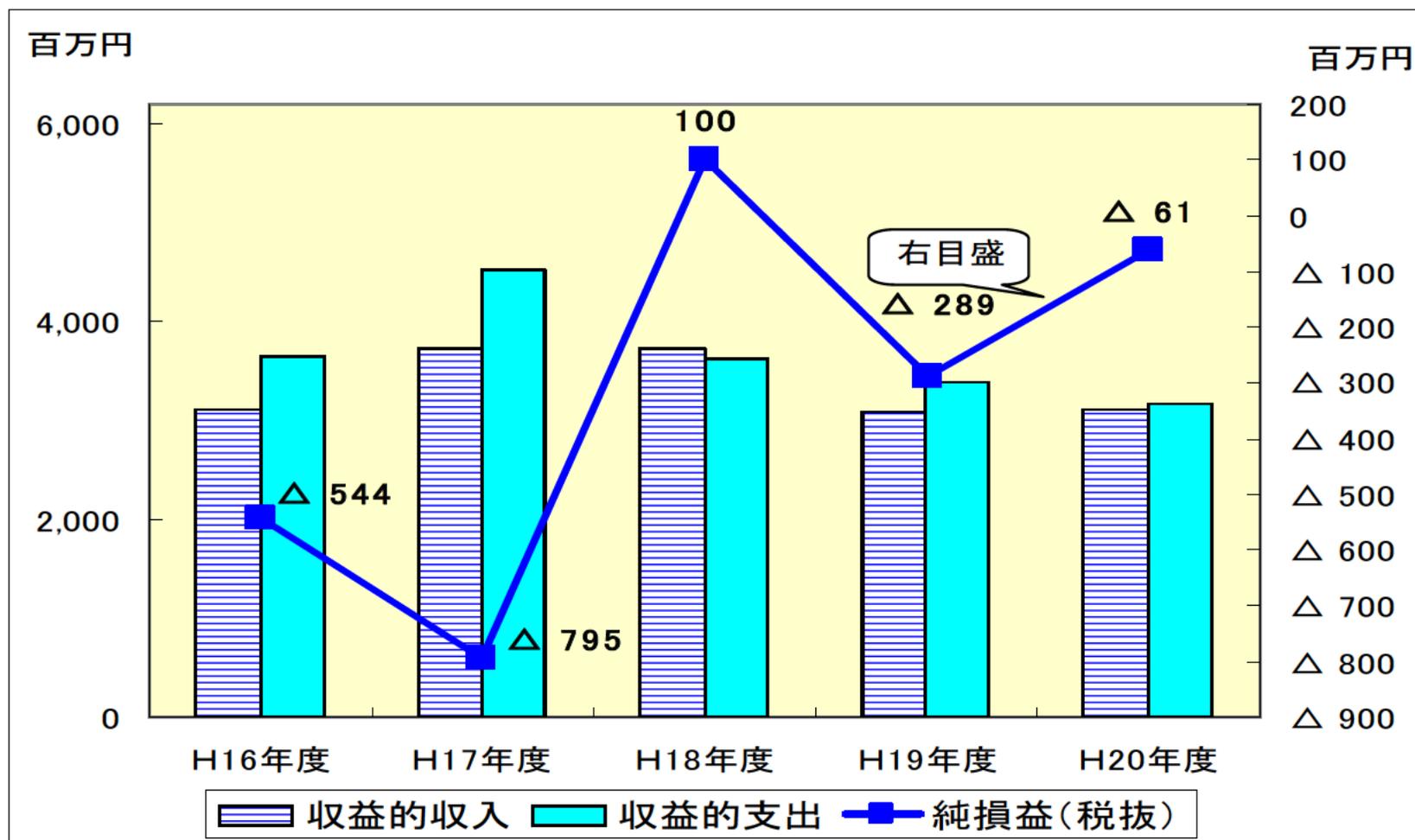
補てん財源	消費税資本的収支調整額	113,503
	減債積立金	850,000
	過年度分損益勘定留保資金	1,363,382
	合計	2,326,885



資本的収支不足額(②－①)＝2,326,885千円



電気事業／収益的収支の決算額の推移



電気事業／収益的収支の決算額の事業別内訳

(単位：千円)

事業名		区分	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
電気事業		収益的收入	3,108,507	3,730,395	3,733,366	3,091,590	3,112,649
		収益的支出	3,652,043	4,525,171	3,632,871	3,380,534	3,173,613
		純利益	△543,536	△794,776	100,495	△288,943	△60,964
電気事業内訳	水力発電事業	収益的收入	2,598,620	2,725,603	2,603,666	2,271,298	2,356,804
		収益的支出	2,554,375	3,100,850	2,293,733	2,301,760	2,163,831
		純利益	44,245	△375,247	309,933	△30,462	192,973
	RDF発電・焼却事業	収益的收入	509,887	1,004,792	1,129,700	820,292	755,845
		収益的支出	1,097,668	1,424,321	1,339,138	1,078,774	1,009,781
		純利益	△587,780	△419,529	△209,438	△258,482	△253,936

電気事業／20年度の収益的収支

収益合計／営業収益＋附帯事業収益＋営業外収益＝31億1千2百万円余(対前年度比100.7%)
 費用合計／営業費用＋附帯事業費用＋営業外費用＝31億7千3百万円余(対前年度比 93.9%)
 純損失(収益合計－費用合計) = 6千万円余

20年度の純損失は、前年度の純損失2億8千8百万円余より、2億2千7百万円余改善しました。なお、この純損失と繰越欠損金18億6千2百万円余を合わせた19億2千3百万円余が20年度末未処理欠損金となっています。

主な利益増加要因 (対前年度比)		主な利益減少要因 (対前年度比)	
(水力)		(水力)	
○ 供給電力量の増による電力料収入の増加	132百万円	○ 三瀬谷水力発電費の増加	150百万円
○ 長水力発電費の減少	97百万円	うち修繕費の増加91百万円	
うち修繕費の減少135百万円		うち委託料の増加72百万円	
○ 大和谷水力発電費の減少	64百万円	○ 特別利益の減少	44百万円
うち減価償却費の減少55百万円			
(RDF)		(RDF)	
○ 委託料の減少	73百万円	○ 電力料収入の減少	44百万円
計	366百万円	計	238百万円

電気事業／20年度の資本的収支

(資本的収入)

(単位：千円)

区 分	20年度決算額
補 助 金	2,430
長期貸付金償還金	68,250
合 計①	70,680

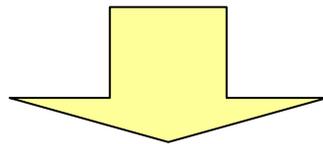
(資本的支出)

(単位：千円)

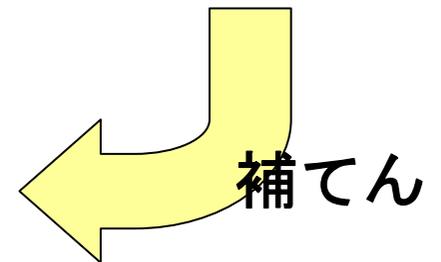
区 分	20年度決算額
建設改良費	67,014
うち長発電所改良費	54,383
うち川上発電所建設費	10,859
償 還 金	600,618
うち企業債	600,618
合 計②	667,632

(単位：千円)

補てん財源	消費税資本的収支調整額	3,167
	過年度分損益勘定留保資金	593,785
	合計	596,952



資本的収支不足額(②－①) = 596,952千円



長期債務残高(20年度末)

(単位：千円)

事業	種別	企業債	水資源機構 割賦負担金	合計
水道用水 供給事業	元金	67,610,364	2,263,047	69,873,411
	利息	14,524,840	616,000	15,140,840
	計	82,135,204	2,879,047	85,014,251
工業用水道 事業	元金	23,558,732	6,323,813	29,882,545
	利息	4,970,653	1,721,339	6,691,992
	計	28,529,385	8,045,152	36,574,537
電気事業	元金	4,674,031	/	4,674,031
	利息	1,094,324		1,094,324
	計	5,768,355		5,768,355
合計	元金	95,843,127	8,586,860	104,429,987
	利息	20,589,817	2,337,339	22,927,156
	計	116,432,944	10,924,199	127,357,143

三重県公営企業会計資金不足比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第22条第1項の規定に基づく「資金不足比率」について

【資金不足比率】

会計名	20年度	(参考) 経営健全化基準
水道事業会計	—%	20%
工業用水道 事業会計	—%	20%
電気事業会計	—%	20%

<参考>

【資金剰余額】

資金剰余額
13,506,043千円
14,012,461千円
2,627,868千円

※各会計の資金不足比率は、資金剰余(黒字)であることから算定されない。